

財務会計情報

薄井 彰 教授

a.usui@waseda.jp

1. 担当教員の専門分野(研究領域)・現在の研究テーマ

主たる研究の関心は、会計情報の理論、財務諸表分析、企業価値評価、資産価格評価モデリング、資本市場理論である。財務会計情報は、財務諸表情報、タックス情報、監査情報、経営者報酬情報、コーポレートガバナンス情報、経営者やアナリストの予測情報など、企業や経済的なイベントに関する情報である。研究テーマは、財務会計情報が資本市場の価格形成と企業行動に及ぼす影響を理論的かつ実証的に経済分析することである。財務会計情報は会計制度のもとで供給および需要される。会計制度の生成、変化、そして企業行動への影響を理論的かつ実証的に検証することは、グローバルな市場環境における会計制度設計に基本的な指針を与えることになる。ここでは、資本市場に関わる会計制度の基本的な課題、すなわち、第 1 に、誰が会計制度を設定するのか、第 2 に、利害関係者はなぜ会計制度を維持あるいは変更するのか、第 3 に、会計制度は資本市場の効率的な価格形成に貢献しているのか、第 4 に、会計制度は企業行動に影響するのか、という点について、実証的、理論的なアプローチによって研究する。

2. 指導方針

規範的、歴史的なアプローチによって会计学全般の専門的知識および会計実務の理解を深めるとともに、ファイナンス論、経済学、法学などの隣接学問分野と会计学の学際領域のトピックスを実証的かつ理論的なアプローチによって研究する。会計研究の方法論のうち、特に、アーカイバル (archival)、アナリティカル (analytical) およびエクスペリメンタル (experimental) な方法論を重点的に修得する。

3. 学生に対する要望・その他

博士学位申請論文を 3 年間で完成させることを目標にして、研究テーマ、研究目的および研究計画を作成してください。博士後期課程の学生は、つねに旺盛な知的好奇心をもち、問題意識を明瞭にして学問に取り組むことが不可欠である。なお、本研究指導を希望する場合は、事前に郵送等で連絡すること。